

積極的に表現できる子どもの育成を目指し、今年も「ビブリオバトル」を開催

読書習慣のない子どもたちをターゲットに、YouTubeを活用

将来的に小学生にも参加を広げるため、6月に小学生向けのワークショップを初開催

図書館機能を中心とする複合施設「海南nobinos」（和歌山県海南市）は、お気に入りの本を紹介し合い、最も読みたい一冊を投票で決める書評大会「2023ビブリオバトル海南市大会in海南nobinos」を、10月22日（日）、ノビノスホールで開催します。海南市在住・在学の中学生、高校生が、当日会場での発表に加え、YouTubeでの紹介も行い、両観戦者からの投票により勝者を決定します。優勝者は12月17日（日）に開催される和歌山県大会決勝に推薦し全国大会への出場に挑みます。学校や教育機関と連携し、読書習慣のない子どもたちにも裾野を広げ、本との出会いや、積極的に表現できる子どもの育成を目指します。

YouTubeの活用により参加者が年々増加

2007年に誕生したビブリオバトルは、文科省の「第三次・第四次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」に記載され、中学校、高等学校の国語の教科書にも掲載されるなど、教育現場への普及も進んでいます。ノビノスでは従来の「本好きによる書評発表を中心とした読書促進」という考えから、読書習慣のない子どもたちにも、「新たな読書の目的を創る」ことや「プレゼンテーション力や長文読解力の向上」を目的に当大会を企画しています。そのための工夫として、YouTube（*）を活用し、子どもたちに人気の高い「ユーチューバー」としてのデビューを印象づけることで、参加者の輪を広げます。実際、海南市大会ではバトラーの参加人数が2021年7名、2022年15名と増加傾向にあります。過去のバトラーからは、「普段、自分の考えを伝えることは少ないけれど、友達以外の人に思っていることが伝わることは楽しかった」などの声や、惜敗した生徒からは「今度こそ」という声が寄せられています。

（*個人情報に配慮し、特定の観戦者のみへの公開予定です。）

小学生向けワークショップも好評

本好きの子どもたちを育てるため、学校や教育委員会、地域住民と連携し、将来的には参加者を小学生にも



2022年ビブリオバトル海南市大会の様子

海南市大会バトラーの推移

2021年	中学生	6名
	高校生	1名
2022年	中学生	13名
	高校生	2名



2023年小学生ワークショップの様子

本件に関するメディアからの問い合わせ先

海南nobinos 指定管理者TRC海南（担当：馬場・西岡）

〒642-0002 和歌山県海南市日方1525-6

TEL：073-483-8739 FAX：073-483-8738

E-mail：lib.trc.kainan@mail.trc.co.jp

HP <https://kainan-nobinos.jp/>

広げていきたいと考えています。そこで、まずはビブリオバトルの流れやルールを理解してもらう事を目的に、和歌山県立図書館より講師を派遣いただき、6月に小学生向けのワークショップを開催しました。試験的な開催でしたが、定員越えの小学生11名が参加してくれました。

参考

■2023ビブリオバトル海南市大会in海南nobinos

・開催日時

令和5年10月22日（日）

予選10時から11時（参加人数の状況により省略） 決勝戦13時から14時

・会場

海南nobinos ノビノスホール、多目的室1、多目的室2

・内容

海南市在住、在学の中学生及び高校生を対象としたビブリオバトルで、校種ごとにチャンプ本を決定する。

なお、チャンプ本に選ばれたバトルーは、ビブリオバトル和歌山県大会決勝へ推薦する。

■「海南nobinos」施設概要

名称：海南nobinos（カインアン ノビノス）

※「のんびりする」「のびのびできる巣」という

所在地：和歌山県海南市日方1525番地6

Access：JR海南駅より徒歩7分

開館時間：9:00～21:30

休館日：12月29日～1月3日

運営：指定管理者 TRC海南

代表団体：株式会社図書館流通センター（本社：東京都文京区 代表取締役社長 谷一文子）

構成団体：株式会社明日香（本社：東京都文京区 代表取締役 萩野吉裕）

：大揚興業株式会社（本社：和歌山市新通2丁目 代表取締役社長 村田弘至）

施設内容：①図書館機能／蔵書冊数14万5652冊（うち絵本の冊数5万2682冊）*2023年8月末時点 ②市民活動・生涯学習活動支援機能／ホール(最大254席)、多目的室×3、会議室×2、音楽練習室×1 ③子育て支援機能／和歌山県内の公共図書館では初の常設有料託児室、乳幼児用の遊び場、屋外広場に隣接する保護者待機室など ④カフェ／スターバックス コーヒー 海南nobinos店（館内は全て蓋つき飲み物の利用可） ⑤広場



■来館者数関西一 “賑わう図書館”

海南nobinosは、図書館機能を核としながらも、ホール・貸館、子育て支援機能を持ち、広場のほか、スターバックスコーヒーも出店しています。図書館は、手に取れる冊数としては日本一となる5万冊の絵本を開架し、児童書、一般書、マンガなど親しみやすい図書を中心に揃えていま

す。ぶつかっても怪我をしないクッション性の高い書架や、押し入れのような閲覧席、寝転んで本を読む読書の森や遊具など、遊びながら本に触れ、好奇心を高める工夫を随所に施しています。2020年6月1日の開館以来、図書館に来るきっかけになるようなイベントも多数開催し、年間来館者数は59.7万人と、人口10万人規模の自治体の公共図書館と比較して関西一となります（日本図書館協会「日本の図書館 統計と名簿2022」より）。

